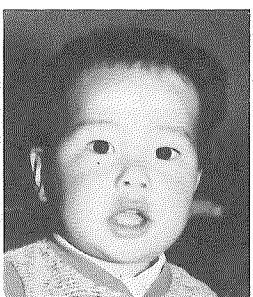
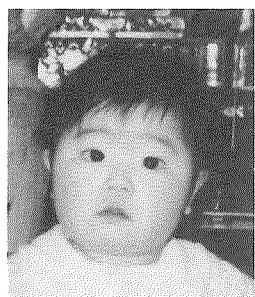
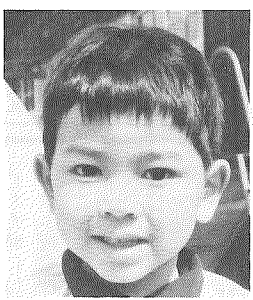


児童福祉週間・5月5日～5月11日

子どもらと 深めよう ふれあい 語りあい



ピッカピカの一年生と竹内町長 磯浜小学校で



児童福祉法対象人口(0才～18才)

五、二〇八人(4/1現在)

すべての国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、かつ、育成されるよう努めなければならない。すべて児童は、ひとしくその生活を保障され、愛護されなければならない。これは、戦後の焼土から復興に立ち上った昭和22年に、戦災孤児となった子供たちの救済を急務として進めながら、すべての児童の福祉を、国の責任において推進しようと制定された「児童福祉法」の冒頭にある児童福祉の理念です。

それから40年あまりの歳月が流れ、経済の成長に合わせてわたしたちの暮らしは豊かになり、子供たちの生活も、昔とは比べようもないくらいにくなりました。

しかし、その反面大きな課題となりつつあるのが、子供たちを取りまく環境です。

とりわけ少年の非行などから引き合いに出されるのは、家庭教育のあり方です。

次代を担う子供たちを、心身ともに健やかに育てることは、わたしたち大人一人一人に与えられた責務です。

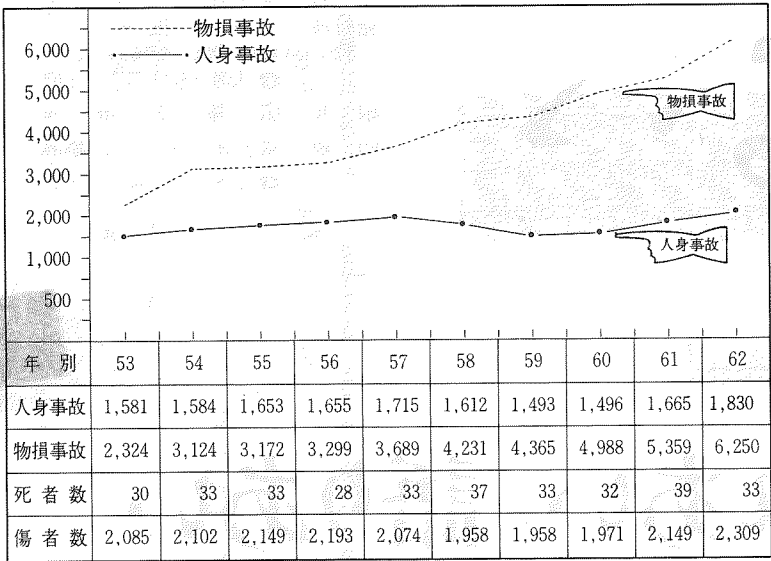
各ご家庭でも、親としてわが子をどのように理解し、何をどのように語りかけていくべきかについて、もう一度考えてみたいものです。

◆写真をさしあげます◆

本紙に掲載した子どもさんの写真(町長と一緒にの方は除く)をあげます。(白黒S版) 広報公聴室までお越し下さい。

0才～6才
一、六七三人
7才～15才
二、六七五人
16才～18才
八六〇人

人身・物損事故発生件数と死傷者数の推移

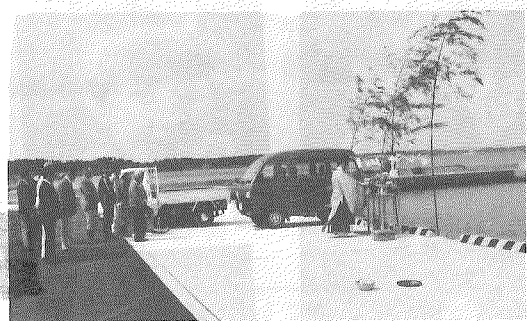


* 人身事故・物損事故とも過去10年間で最高記録を示した。
* 死者数はこの10年間30人を下回ったことがない。

- 氏 名 職 名
- 鬼澤 司郎 清掃センター所長
 - 富沢 正義 衛生手
 - 飛田 素弘 衛生手
 - 小沼 洋一 企画室企画係長
 - 水谷 良子 厚生課民生係長
 - 柳田 雄作 主事
 - 佐久間伸水 保健衛生係長
 - 山口志津子 総務課主事
 - 杉山り子 広報公聴室主事
 - 山口 静江 住民課主事
 - 橋本 啓助 建設課技師

このたび、6ケ年にわたって建設が進められてきた、内水面漁業用の松川漁港が竣工し、去る4月18日に、地元漁業関係者の主催による、松川漁港安全祈願祭が行われ、喜びを分かちあいました。

内水面漁船は、従来、「船溜り」や湖岸堤を繋留泊地として使用してきましたが、船溜りは農業用水路からの流下土砂の堆積により、水深の維持が困難となり、湖岸堤への繋留も操業上や安全性に問題があるため、この漁港建設については、地元漁業者長年にわたる宿願であったものです。



内水面漁業の基地 "松川漁港"が完成

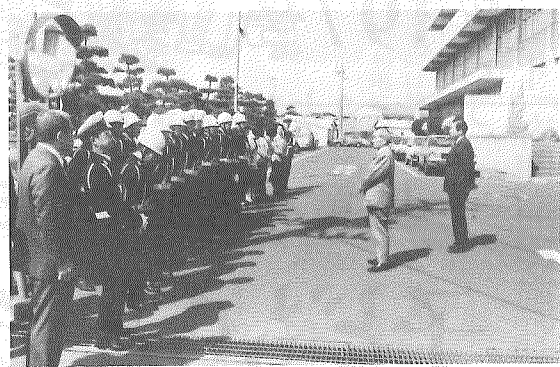
（うち・国・県補助金80%
町補助金 20%
収容可能隻数・約90隻
管理者・大洗町

一、タオル百本
大洗町永町13区
寿会 田山静江殿
老人ホーム用として寄附されました。

寄附

氏 名	電話番号	担 当 区
前島正男	(66) 105 8	祝 町
有田己義	(67) 460 4	東 台
鯉川禮子	(67) 392 1	地区
勝村勝一	(67) 574 2	地区
白田 一郎	(67) 256 7	明神町
才田 一郎	(67) 245 1	二丁目
小松崎美代	(67) 249 1	仲 町
飛田 金次	(67) 461 4	地区
荻 達 勇	(67) 383 3	金沢町
関根富美雄	(67) 513 5	新 町
天野 一男	(67) 233 6	通 町
坂本つや	(67) 234 9	地区
清水一朗	(67) 356 9	永 町
川崎 昇	(67) 514 4	地区
水谷虎次郎	(67) 212 4	地区
岡田信次	(67) 264 3	地区
長谷川正徳	(67) 310 1	全 町
鈴木 憲	(67) 451 4	地区
田山邦太郎	(67) 274 9	地区
三村将夫	(67) 282 4	地区
鴨川 靖	(67) 355 2	地区
長谷川 公	(67) 224 2	地区
木村 静	(67) 348 7	地区
海老沢好一	(67) 252 2	地区
小野瀬喜昭	(67) 544 4	地区
広木繁雄	(67) 354 1	地区
石井きみ	(67) 297 8	地区
清宮 真	(67) 562 0	地区
井上 譲	(67) 380 6	地区
小野瀬 優	(67) 449 0	地区

交通事故防止は みんなの努力で



パレード出発・訓示を述べる小幡五郎安全協会大洗支部長

大洗町でも大事故が

3月18日未明、夏海バイパスで中央分離帯高さ25センチ・巾90センチを乗り越えた乗用車が、対向車と激突し、3人が即死するという事故が発生しました。

交通事故はいつも悲惨です。事故の発生は、同時に生命・負傷・葬儀・入院・遺族の悲しみ・生活不安・民事補償・刑事罰・行政罰（免許・裁判など、加害者・被害者双方ともに、煩雑で息苦しく考えただけでも逃げ出したくなる呼びかけ

事故防止に向けて

よ様な立場の発生でもあります。

- ③交通事故ゼロの日運動の街頭キャンペーン
- ④街頭立哨指導
- ⑤交通安全車両パレード 他

増え続ける交通事故

このような関係者の努力にもかかわらず、全国・県内・水戸警察署管内（グラフ参照）いずれも事故件数は増加しており、全国の交通事故死者数は6年連続9千人を越えています。

「明日は我が身」と思って間違いないありません。運転者の皆さんも勿論、自転車・歩行者の皆さんも正しい交通ルールを守り、交通事故のない明るい社会をつくりましよう。

- 守りますベルトに速度に車間距離
- 安全へつなぐ古いの手幼い手
- 無灯火は乗る人見る人まっくら

町職員の表彰

竹内町長は、四月一日、町職員表彰規程にもとづき職員十一名を表彰しました。

この表彰は、町職員の勤労意欲の高揚と業務能率の向上を図るとともに、町民全体の奉仕者としての責任を自覚することを目的として行われるものです。

今回、十一名の職員は六十二年中において、特に精進をもって勤められその勤務態度、成績等により町表彰審査委員会において推奨され表彰されたものであります。

被表彰者（敬称略）

青少年相談員 の 紹 介

青少年相談員は日頃から、地域青少年の健全育成、非行の早期発見と防止、有害環境の浄化などを主な任務として活躍されている民間有志の方々で、当町には現在、町長から委嘱された30名の方がおります。

具体的な活動としては、町内を八班にわけ毎月持ち回りを随時パトロールするほか、夏季期間や夏祭り時の夜間パトロール、大洗駅周辺や列車巡回等の特別活動を行っています。

また、環境浄化活動としては、

不良図書自販機の監視、指導や、有害違法広告物の撤去など。健全育成事業では、巡回広報活動や学校・PTA・警察署等各関係機関との話し合いを持ち連携を密にしております。以上の様な活動をしておりますので、相談員は非行青少年等の監視や、取締り、指導を主な目的としている様に思われますが、むしろ相談員は青少年の良き理解者となり、悩みごとの相談相手となることを主眼としております。

又立場上知り得た秘密は固く守られております。

どうぞ青少年問題でお悩みの方は各地区の青少年相談員にお気軽にご相談下さい。

年金だより

国民年金と個人年金

生命保険会社や郵便局が力を入れている商品に個人年金があり、最近では「夫婦年金」というものが売り出され、人気を集めているようです。

そのためか、国民年金の話をするとき、国民年金の方が得では？」「個人年金に入っているから保険料が納められない」といった声が返ってきます。

しかし、ちょっと考えてください。確かに個人年金には国民年金にはない生命保険的な部分があり、その点では魅力的な商品です。

その反面、年金給付に物価スライドによる額の改定がないなどの欠点もあります。国民年金には個人年金にないもの、個人年金には国民年金にはないもの

年金受給者が死亡したときは速やかに届け出しましょう

国民年金の老令基礎年金や障害基礎年金などを受けている方が死亡した時には、遺族の方から速やかに「死亡届」を提出していただくことになっています。

年金の支払いは、年金受給者が死亡した月分を終了となりますが、この死亡届が提出されないと年金を支払う社会保険庁や水戸南い。

では、年金を引き続き支払ってまいります。そして、年金受給者が死亡した月分以降の年金を遺族の方が受けて

年金

新鋭 密漁監視船が 進水!!



4月4日、フェリー埠頭のすぐ北側の岸壁で一隻の新造船がクレーンで吊られ、静かに水面に降ろされました。

この船は、「沿岸地域活性化緊急対策事業」により、700万円の事業費を国県・町・大洗町漁協が7:1:2の割合で負担し造られたもので、はまぐり等の密漁監視にあたるものです。

進水式には、小松崎大洗町漁協組合長はじめ理事さんや、竹内町長・和町議会議長・菅原経済常任委員長が出席し、進水を祝いました。

今後の密漁防止の大きな戦力になることと見られています。

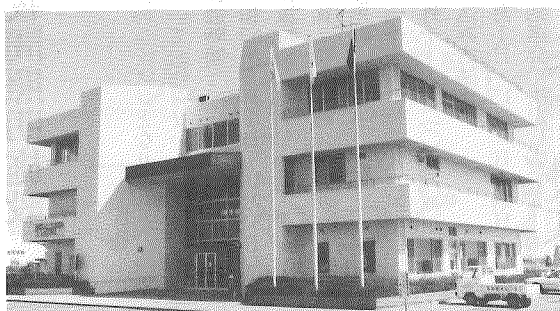
なお、性能・設備等は次の通りです。総トン数17t、120PSディーゼル、無線機、レーダー、拡声器、探照灯、その他

フェリーターミナルビル 3階建に模様替え

しばらくぶりでフェリー港に来た方は、ターミナルビルがいつの間にか大きくなっているの気がつかれることでしょう。

これは、大洗港の取扱貨物が著しい伸びを示し(62年度は前年比17.6%増)、これは全国でも有数の伸び率です。これに伴う業務量の増加で、今までの事務所が手狭となつたために上屋を増設し、3階建としたもので、この2月下旬に工事が完成しました。

この好調を反映して、フェリー2社もそれぞれ新造船を投入し、北海道との航路開設以来の貨物量は、100万トンを超えています。なお、3階は(株)日本沿海フェリーと大洗埠頭開発(株)の事務所となります。



新装なったターミナルビル

待望の『通用門』完成

磯浜小学校

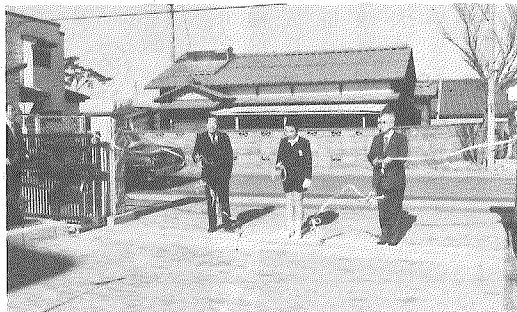
磯浜小学校は町内で一番交通量の多い道路に面しています。

このほど完成した通用門は、給食等、さまざまな納入車両と正門での歩行者(児童)の出入口を分離することで、より安全な登下校を実現するものです。4月に迎える新一年生への、形を変えたプレゼントともいえます。

開通式は2月22日に行なわれましたが、当日は底冷えのするたいへん寒い日でした。

伊藤校長はじめ先生方と6年生全員が見守るなか、竹内町長、田口教育長、生徒代表が揃ってテープカットを行いました。

今、桜の花びらの舞う季節となり、新中学生となった6年生の多くはこの通用門を見ながら通学していることになりました。



この事業費は1千240万円

夢のある海を築こう育てよう

全国豊かな海づくり大会



大洗町漁協婦人部の練習風景

この大会は水産業界のビッグイベントとして年々盛大になってきており、全国からの来場者は約5,000人といわれます。これを盛り上げるのは何といっても郷土色豊かなアトラクションで、これはまた、町民の方々が主役となるものであります。

第8回全国豊かな海づくり大会の開催が、10月23日に決定されました。

交通マナーを高める運動

県知事より三名に感謝状

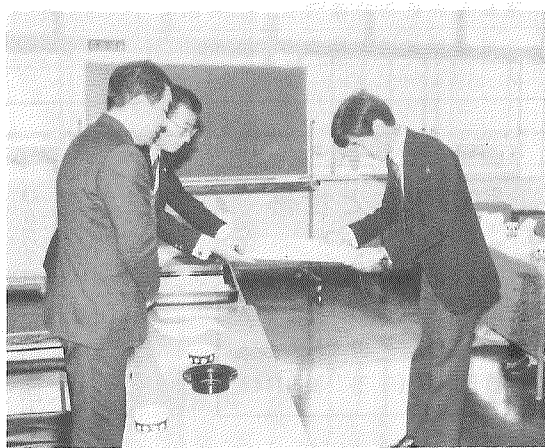
新しい茨城の交通マナーを高める県民運動を積極的に推進、実践されてきた功績により、県交通対策協議会長である県知事から次の三名の方に感謝状が贈られました。

山崎 好雄殿 磯浜二四一四
黒沢 貞男殿 磯浜二五二九
榎澤 貞男殿 磯浜二五二九



みんなで贈ろう日本の血液

献血功労者が表彰されました



今や「人生八十年」といわれますが、これは最近の医療の進歩により体力のない高齢者の手術も可能になってきたことが大きな要因となっています。この医療を支えているのが「献血制度」だといえます。

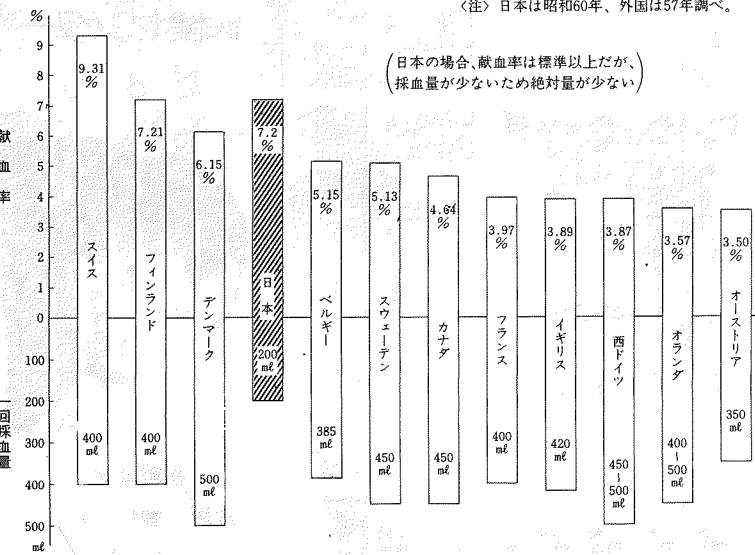
現在の献血制度は、①200ミリリットル②400ミリリットル③成分献血の3つの採血方法があります。このうち400ミリリットル採血は、輸血量がより少ない人数で贈える患者の副作用を減らすことができ、また、世界各国でも以前からこの

5月10日～16日 愛鳥週間(バードウィーク)



野鳥は、豊かでつるおいのある生活環境を形成する上で欠くことができません。野鳥は、森林や農作物を害虫から保護する益鳥です。

世界輸血先進諸国の献血率(年間献血者延べ数/総人口%)および1回採血量



成分献血は、水戸の赤十字血液センターで実施されており、血液の必要成分だけをとり、残りを体内へ返す方法ですが、時間がかかるのが唯一の欠点です。

今回表彰された皆さんは、昭和59年以降で通算20回以上の献血をした方が対象となつたものです。

竹内町長は感謝状と記念品を手渡した後、「皆さんのような、一人

一人の善意の積み重ねが住みよい地域社会を形づくります。特に今回は、地元の事業所である原研・動燃の職員の方々が多く、住民と一緒に地味な地域づくりへの前向きな姿勢と受けとめています。と謝辞を述べました。

(一) 一般

〔原研大洗〕

- 鈴木幸一 20回 石川一哉 21回
- 渡辺高志 20回 田代勉 20回
- 山戸果 20回 笠井芳郎 21回
- 新田貞男 22回 望月民三 21回
- 田口勇 21回 川嶋一幸 21回
- 高木弘之 23回 山口英雄 21回
- 宮内隆 21回 小畑雅博 24回
- 田山幸弘 20回 木崎実 20回
- 関根幸子 24回 稲葉幸夫 22回
- 田山忠 21回 兼川博 22回
- (動燃大洗)
- 黒氏栄章 20回 横内猪一郎 21回
- 鈴木東海男 20回 相沢静男 22回
- 八木昭 20回 長嶋久雄 22回
- 佐久間和彦 21回 薄井健 21回
- 千葉雅弘 21回 坂本次郎 22回
- 佐川昌宏 22回 柳田雄作 21回
- 田中幸江 20回 菅谷憲衛 21回
- 大山政信 22回

